

**祝** おめでとうございます

○瑞宝単光章 消防功労



福崎 和美さん（元伊佐市消防団副団長）



上村 広盛さん（元大口市消防団副分団長）



○藍綬褒章 更生保護功績

下野 美保子さん（写真左から2番目）

○法務大臣表彰 更生保護功績

松ヶ迫 憲二さん（写真左から3番目）  
西 光明さん（写真左から1番目）

市固定資産評価審査委員会委員選任



令和5年12月12日に開かれた市議会定例会で議会の同意を受け、次の方々固定資産評価審査委員に選任されました。

〈写真左から〉

- 桐原 茂太さん（西本町・再任）
- 上蘭 信行さん（本城宇都・再任）
- 大塚 左文さん（仲町・新任）

委嘱状交付



長野吉泰さんが市教育委員会委員に再任されました。任期は令和9年12月11日まで。



## 表敬訪問



燃ゆる感動かごしま大会～特別全国障害者スポーツ大会～バレーボール男子（知的）に鹿児島県代表として出場した菱刈本城出身の木村竜太さんが橋本市長を表敬訪問しました。木村さんのポジションはセッターで、同チームのキャプテンも務めました。結果は準決勝で惜敗するも3位決定戦で見事勝利を取めました。「キャプテンとしてチームをまとめるのは大変だったが、3位という結果を残せてよかった。これを機に障がい者スポーツがもっと広まり、同じ境遇の人が少しでも前向きな気持ちになってくれると嬉しいです」と話しました。

## ソフトボール教室



菱刈農村公園グラウンドで女子プロソフトボールチーム「MORI ALL WAVE KANOYA」の選手らによるソフトボール教室が開催されました。市内外から8チーム68人の女子中学生が集まり、プロ選手の迫力あるプレーを真剣なまなざしで見つめ、指導を受けていました。同プロチームのキャプテン永山愛実さんは参加した中学生らに「練習や試合をする中できつい、辛いと感じることもあると思うけど、ソフトボールが楽しい、好きという気持ちを忘れずにこれからも頑張ってもらいたい」と声援を送りました。

## ふれあい駅伝競走大会

12/3

第14回伊佐市ふれあい駅伝競走大会が開催されました。菱刈環境改善センターから伊佐市陸上競技場までの10区間18.8kmのコースを各校区代表選手が競いました。結果は次のとおりです。



各チーム成績		
1位	大口東A	1:00:12
2位	湯之尾A <small>飛躍賞</small>	1:00:46
3位	山野	1:01:25
4位	田中A	1:01:34
5位	羽月	1:05:17
6位	大口中央	1:06:47
7位	菱刈	1:07:37
8位	田中B	1:08:56
9位	忠元 <small>飛躍賞</small>	1:09:23
10位	大口東B	1:10:11
11位	平出水	1:11:08
12位	湯之尾B	1:12:09
13位	牛尾	1:13:49
14位	曾木	1:14:17
15位	本城	1:17:23
—	針持	オープン参加

個人成績（区間賞）		
区間（距離）	タイム	選手名
1区（1.0km）	3:24 <small>区間新</small>	面高 暁仁（忠元）
2区（1.6km）	5:37	山元 幹太（田中A）
3区（3.1km）	8:45 <small>区間新</small>	中條 幸大（大口東A）
4区（1.3km）	5:02	面高 結愛（忠元）
5区（3.2km）	9:05 <small>区間新</small>	出水 愛翔（山野）
6区（2.0km）	6:03	竹下 龍侍（大口東A）
7区（2.8km）	8:16 <small>区間新</small>	中島 陸斗（大口東A） 山崎 遊馬（山野）
8区（1.1km）	3:32	藺牟田 梨乃晏（忠元）
9区（1.6km）	4:35 <small>区間新</small>	肥後 龍平（山野）
10区（1.1km）	3:14	山脇 秀和（田中A）



## 台湾・花蓮市訪問団が来市



台湾の東部に位置する花蓮市から魏嘉彦<sup>ウェイジャイエン</sup>市長はじめ10人の訪問団が伊佐市役所を訪れました。自然豊かで農業も盛んという共通点がある花蓮市とは、これまでも市長、職員間のオンライン交流を実施し、親睦を深めてきました。この度の来市では、曾木の滝や大口酒造蒸留所などを見学した訪問団。魏嘉彦市長は「伊佐市と花蓮市はよく似ていて、まるで自身の故郷を眺めているようだった。距離は離れていても友であり、今後も文化、教育、産業など多面的な交流を期待している」と話しました。

11/29

## 有害鳥獣被害対策協定書調印式



北薩森林管理署・伊佐市・猟友会伊佐支部の3者で有害鳥獣被害対策協定が締結されました。本協定は「モンスターウルフ」と呼ばれるオオカミを模った野生動物撃退装置を設置するとともに、捕獲ワナを設置し、有害鳥獣捕獲の効率化及び被害の防止を図ることを目的としています。県猟友会伊佐支部長の清水剛吏さんは「昨年、伊佐市ではシカ2,933頭、イノシシが816頭捕獲されているが、それでも農作物等の被害が続いている。協定を締結することで捕獲頭数を増やし、行政と一体となって被害防止に努めていきたい」と抱負を語りました。

## 大鶴湖を遊覧 発電所遺構も間近で見学



11月19日・26日、鶴田ダム湖（大鶴湖）で期間限定の遊覧船が就航しました。

自然資源を生かした街づくりに取り組む伊佐市のNPO法人「バイオマスワークあったらし会」が企画したもので、2日間で約100人が乗船しました。参加者は、船上から普段は見るできないダム湖の風景を楽しんだほか、曾木発電所遺構も水上から間近で見学しました。

## 五穀豊穰、無病息災



湯之尾神社で五穀豊穰、無病息災を祈願し「湯之尾神舞」の奉納が行われました。県の無形民俗文化財に指定されている「湯之尾神舞」は500年以上の歴史があると推定され、面を被った舞人が国生みや天岩戸といった神話をモチーフにした演舞を披露しました。

コロナ禍の影響で4年ぶりの奉納となりましたが、湯之尾小学校の生徒や地域の方々が13演目を舞い、訪れた観客からは大きな声援と拍手が送られました。





## 絵本教室



山野小学校の2年生を対象に絵本教室が行われ、伊佐市出身で絵本作家／イラストレーターのかこいかぐみさんが講師を務めました。児童らは「いつ」「どこで」「だれが」「なにをして」「どうなった？」のキーワードをもとに紙に書いたそれぞれの物語をシャッフルして、新しい物語を作り上げていました。同校の卒業生であるかこいさんは「小さい頃を思い出して、温かい気持ちになった。本を制作するときは楽しんで作っている。子どもたちも何事も楽しみながら取り組んでもらいたい」と話しました。

## 伐ったら植えよう、伊佐の森



伊佐市の主催で植樹祭が開催されました。植樹祭は森林や緑の重要性を学び、緑を守る意識の醸成を図ることを目的としており、緑の少年団や高校生、林業関係者など122人が参加しました。市有林での植樹体験では、約1,000本のスギの苗が参加者の手で植えられ、初めて植樹を経験したという下津曲聖斗さん（大口高3年）は「大きく育った木々があるのは森を守るという想いが受け継がれてきた証。植樹を通して次の人たちにこの想いを繋いでいきたい」と話しました。



## 伊佐の農業を覗いてみませんか？



鹿児島県農政部が推進している地域リスクコミュニケーションを普及するための農業見学ツアーが、伊佐市で開催されました。地域リスクコミュニケーションとは、地域で生産者や食品関連事業者、消費者等の関係者を交え、食の安心・安全に関する情報の共有や意見交換を行うもので、今回のツアーは、食の安心・安全推進パートナーの海老原純一さん（伊佐市出身）が企画しました。ツアーには市内外の28人が参加し、農家さんとの意見交換やネギの集積加工場、菱刈カントリーエレベーターの見学、直売所での特産品購入など、充実した内容となりました。

参加した佐竹歌菜さん（鹿児島大学水産学部国際食糧資源学特別コース2年）は「伊佐はお米が有名なのは知っていたが、他の特産品、またそれを製造している農家さんの取り組みや努力を知ることができてよかった。普段は入ることのできない施設の見学や、一緒にツアーに参加した農業に精通されている方々との交流もでき、大学の講義とは違う楽しみがあった」と感想を話しました。



## 最優秀賞



読売新聞社主催の第73回全国小・中学校作文コンクールで南太陽さん（田中小5年）の作品が鹿児島県で最優秀賞を受賞しました。題名は「いってらっしゃいで始まる夏休み」です。道徳の授業や先生の話の中であった「自立」という言葉。この言葉をテーマに南さんが過ごした夏休みの行動や心情の変化などが伝わってくる作品です。

南さんは「勉強や家の手伝いなど自分で考えて行動して、自立を続けていきたい」とこれからの抱負を話しました。

## 合同進路ガイダンス



大口元気こころ館で中学3年生とその保護者を対象に大口高校、伊佐農林高校、大口明光学園高校の合同進路ガイダンスが開催されました。まだ進路に悩んでいる生徒もいるという状況を踏まえ3校が協力して企画しました。

各高校の特色紹介や個別相談が実施されたほか、市教育委員会の担当職員から通学支援金や各種検定代の補助などについて説明がありました。参加した生徒からは「とてもためになった。参考にしたい」といった声が聞かれました。

## 今日から認知症サポーター



大口小学校6年生を対象に認知症サポーター養成講座が行われました。講座では「認知症とはどういうものか?」「認知症の人の気持ち」など、認知症について正しい知識や支援の方法などを学びました。受講した山西永真さんは「認知症の人には優しい声掛けや親切に接することが大切だと知った。今日学んだことを家族や友達にも呼びかけてサポートの輪を広げたい」と話しました。児童らには認知症サポーターの証である「オレンジリング」が渡されました。

今回サポーターになられたみなさんは28ページでご紹介しています。

## 思いやりの気持ちを育む



田中小学校で「人権の花」運動閉会式が行われ、さまざまな取組に対して鹿児島地方務局霧島支局から感謝状が贈呈されました。

サプライズで人権イメージキャラクターの人KENまもる君・人KENあゆみちゃんが登場し、児童たちは大喜び。

児童代表あいさつで植元由彩さん(6年)は、「人権の花運動をして心に残ったのは、これまでよりも人権について考えることが多くなり、去年よりも悪口を聞く回数が少なくなりました。これからも人権の勉強を続けていきたいと思います」と話しました。